

平成17年度 21世紀土地改良区創造運動 北海道大賞

受賞地区の概要

～新たな水土里ネットの創造～

- 道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織
- 道民・国民の要請に対応した農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織
- を目指して



平成17年8月30日

水土里ネット北海道
北海道土地改良事業団体連合会

はじめに

平成13年度にはじまった21世紀土地改良区創造運動（以下「21創造運動」）は今年度で5年目に入り、全道的な広がりが見られるようになりました。

平成14年度には土地改良区の愛称「水土里ネット」が決定し、以降、この愛称の普及を含めた多様な運動が全国的に展開されております。

また、平成15年度には、全国水土里ネットにおいて、全国の模範となる優れた運動や示唆に富む運動を展開している水土里ネットを表彰する「21創造運動大賞」が創設されました。

このような中で、本会は、21創造運動を一層推進する支援体制の強化を図るため、昨年4月に、「21創造運動表彰選考委員会」を設け、「21創造運動北海道大賞」を選考することといたしました

道内87水土里ネットの21創造運動の取り組みは多岐にわたっており、それぞれの地域の特性に応じた様々な活動が展開されております。

選考委員会における北海道大賞の選考過程では、これらの活動について、都市と農村との交流や地域住民等と連携した地域づくり、学校教育との連携、先駆的な農業振興活動、多様な広報の推進等が積極的に行われており、その運動の取組体制、意味性、継続性・発展性、連携性が選考のポイントとなりました。

21創造運動は、水土里ネットの役割・機能を再認識するなど自己確認、自己変革に取り組む（内部運動）とともに、農業・農村の多面的機能や農地・農業用水等の資源保全の重要性、水土里ネットの果たす役割などについて広く理解の情勢を図る（外部運動）ものであります。今後とも水土里ネットが、道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、また、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織として発展するためには、これからも着実に継続して21創造運動に取り組んでいかなければなりません。

本会といたしましては、この表彰を通じ、関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげ、さらなる運動の推進と新たな展開が図られるよう支援して参りたいと考えております。

水土里ネット北海道

北海道土地改良事業団体連合会 会長理事

21創造運動推進委員会 委員長

小澤仁良

目 次

I.	21創造運動北海道表彰について 1
	1. 21創造運動表彰の目的	
	2. 21創造運動表彰の選考経過等	
II.	21創造運動北海道大賞地区の概要	
	1. 水土里ネットうりゅう（雨竜土地改良区） (空知管内) 3
	2. 水土里ネット江差 (江差土地改良区) 5
	(桧山管内)	
	3. 水土里ネットうらかわ (浦河町土地改良区) (日高管内) 7

I 21創造運動北海道表彰について

1. 21創造運動表彰の趣旨

「水」「土」「里」は食料の安定供給や農業・農村の多面的機能の発揮の基盤となる社会共通資本。道民・国民の財産であるこの「水」「土」「里」を良好な状態で次世代へ継承するため、水土里ネットでは、農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織を目指して、21創造運動を積極的に展開している。

このような中で、模範となる運動を展開している水土里ネットの表彰を通じ、活動に取り組む関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげることにより、水土里ネット関係者の運動への取り組み意欲の高揚と意識改革を図るとともに、運動のさらなる発展と新たな展開に資する。

2. 21創造運動表彰の選考経過等

(1) 選考対象

21創造運動に積極的に取り組み、北海道の模範となる運動を行うか、又は、他の運動に対して示唆を与える運動を行っている水土里ネット。

(2) 選考方法

本会「21創造運動表彰選考委員会」が、道内87水土里ネットの取組状況を精査し、北海道大賞が決定する。

(3) 「21創造運動表彰選考委員会」委員の構成

委員長	梅田 安治	農村空間研究所長、北海道大学名誉教授
副委員長	山田 晃睦	栗沢町長
委員長	澤徹明	北海道大学大学院農学研究科教授
//	森 久美子	作家、エッセイスト
//	小田 たず子	消費生活コンサルタント
//	野城 正功	農政ジャーナリスト
//	小松 勝雄	北海道開発局農業水産部 調整官
//	山崎 照夫	北海道農政部 技監

(4) 選考基準

水土里ネットが取り組む21創造運動において、愛称の普及、都市と農村との交流、地域住民等と連携した地域づくり、総合学習など学校教育と連携した活動、先駆的な農業振興活動、環境・景観保全活動、多様な広報の推進等が積極的に行われており、その運動の取組体制、意味性、継続性・発展性、連携性において優れた活動が行われていること。

1) 運動の取組体制

- ①役職員とともに、運動を積極的に推進する意志と姿勢を有しているか。
- ②組織が一丸となって運動に取り組んでいるか。
- ③組合員の運動に対する理解が浸透しつつあるか。

2) 運動の意味性

- ①明確な基本理念を持って取り組んでいるか。
- ②運動の理念が、地域住民等に明確に伝わるような取り組みを行っているか。
- ③歴史や先人等の想いが伝わる運動となっているか。
- ④地域農業の振興・発展に向け、地域の要請に対応した新たな役割の發揮に取り組んでいるか。

3) 運動の継続性・発展性

- ①単発的な活動に終わるのではなく、持続的な（無理のない）運動として展開されているか。
- ②運動内容が徐々に発展・拡大しているか（「一步の踏み出し」）。
- ③運動が計画性（運動目標）を持って行なわれているか。
- ④運動の成果が現れているか（当該水土里ネットの体力に応じた相当の結果が現れているか）。

4) 運動の連携性

- ①他の組織との多様かつ有機的な連携のもとに、外部にも開かれた運動が展開されているか。
- ②多様なツールを活用しつつ運動のPRを積極的に行っているか。

（5）選考経過

1) 第1回委員会

- 期　　日　　平成17年6月10日
- 選考内容
 - ・21創造運動北海道表彰の実施方針について審議。
 - ・21創造運動北海道表彰の選考基準等について審議。
 - ・道内全87水土里ネットの運動の活動内容について、①愛称普及②都市と農村の交流③地域住民との連携④学校教育との連携⑤先駆的な農業振興活動⑥環境・景観保全活動⑦多様な広報等一の7項目に分類し、それぞれの項目に積極的に取り組んでいる16水土里ネットをAランクとして表彰候補に絞り込んだ。

2) 第2回委員会

- 期　　日　　平成17年7月1日
- 選考内容
 - ・北海道大賞の選考にあたっては、極力多くの水土里ネットを表彰し、この表彰を通じて水土里ネット関係者の運動への取組意欲の高揚を図ることなどから、昨年受賞した5水土里ネットを除く11水土里ネットの中から選考することで検討。
 - ・この11水土里ネットの活動について、選考基準である①運動の取組体制②運動の意味性③運動の継続性・発展性④運動の連携性一について整理・検討し、特に優れた活動を展開している3水土里ネット（うりゅう、江差、うらかわ）を北海道大賞に選考した。

（6）その他

21創造運動北海道大賞は、水土里ネットが行う「運動」を表彰するもので、一度受賞した水土里ネットにおいても、その後の「運動の発展性」「一步の踏み出し」が認められた場合、再受賞もある。

Ⅱ 21創造運動北海道大賞地区の概要

1. 水土里ネットうりゅう（雨竜土地改良区）

(1) 水土里ネットの概要

- | | |
|--------|-----------------|
| ②地区面積 | 3,157ha |
| ③組合員数 | 426戸 |
| ④関係市町村 | 雨竜町、新十津川町 |
| ①役職員等数 | 総代36名、役員8名、職員9名 |

(2) 21創造運動の概要と受賞ポイント

NPO等と連携し小学生や留学生の参加を募っての農業体験学習会の開催や、地域住民等で構成する農村景観づくりグループ「暑寒パストラル」と連携した美しいむらづくりの推進など、多様な連携による活動を展開している。

特に、ため池周辺の生態系保全等の取組では、水土里ネットが事務局となって「雨竜町環境情報協議会」を立ち上げ、組合員をはじめ地域住民などボランティアの参加を募って「クサカリタイ」を結成し、ビオトープ区域の草刈りや野鳥の巣箱の設置、ワカサギの放流などを定期的に行っている。

そのほか、小学校等と連携した「田んぼの生きもの調査」や、用水路沿いのハーブの植栽など、他の組織や地域住民、学校など多様かつ有機的な連携のもとで、外部にも開かれた運動を組織が一丸となって取り組んでいる。

(3) 21創造運動の主な取組

①都市と農村の交流

◇農業体験交流会の開催

農業体験などを通じて、農地や農業用水等の重要性と、これらの地域資源を管理している水土里ネットの役割などを知つてもらおうと、NPOなどと連携して農業体験交流会を開催。外国から日本に来ている英語教師や、みどりの少年団など地域の子供たちの参加を呼びかけて、田植え体験や農業資料館等へ案内している。



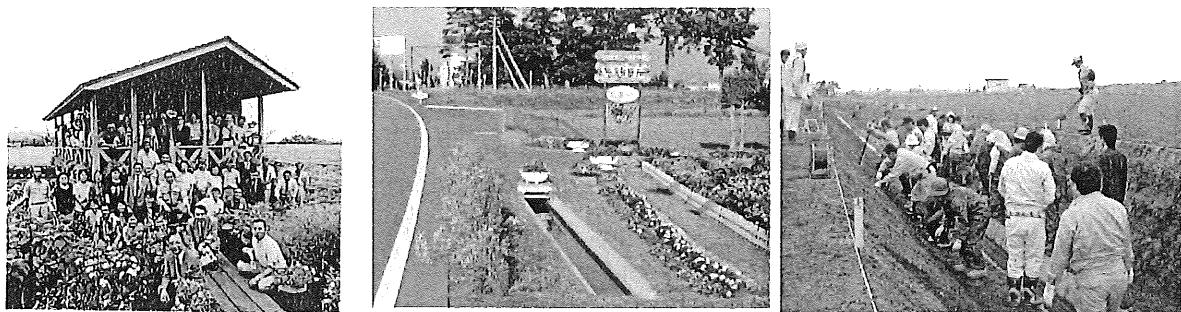
◇地域イベントへの参加

町などが主催する地域のイベントに積極的に参加し、パネルで農業用水の多面的機能、農地・農業用水等の資源保全の重要性などを紹介するほか、パンフレットなどを配布し、水土里ネットの役割などをPRしている。

②地域住民等との連携

◇用水路沿い等の植栽

美しいむらづくりの推進として、地域住民等で構成する農村景観づくりグループ「暑寒パストラル」と連携し、用水路や農道沿いに花を植栽するほか、クリーン農業、減農薬農業を進めるため、地域住民や組合員、子供たちの協力を得て、用水路沿い等にハーブの植栽を進めている。



農村景観グループ「暑寒パストラル」のメンバーと水土里ネットの関係者(左)、用水路沿いの花壇整備(中央)、地域住民等と連携した植栽(右)

◇ため池周辺等の生態系保全管理活動の推進

農村自然環境整備事業等で整備・復元された町内のため池等の生態系保全・管理を進めようと、水土里ネットが事務局となって、関係機関をはじめ多様な団体、個人で構成する雨竜町環境情報協議会を設立。ビオトープ区域の草刈りでは、組合員はもとより地域住民等ボランティアで「クサカリタイ」を結成し、動植物の観察道路や植栽した木々の周辺の草刈りを行っている。

また、野鳥の巣箱の設置や、鶴田、丹羽の両沼にワカサギも放流している。



「クサカリタイ」を結成し、ビオトープ区域の生態系を保全(左)、ワカサギの放流(中央)、野鳥の巣箱の設置(右)

③学校教育との連携

◇小学校等と連携して「田んぼの生き物調査」を実施

国が進めている「田んぼの生きもの調査」に取り組み、札幌開発建設部と連携して町内の小学校に協力を呼びかけて実施している。

④先駆的な農業振興活動

◇ため池周辺等の生態系保全管理活動の推進 ※再掲

◇用水路沿い等の植栽（ハーブの植栽による減農薬の取り組み）※再掲

⑤環境・景観保全活動

◇用水路沿い等の植栽 ※再掲

◇ため池周辺等の生態系保全管理活動の推進 ※再掲

⑥多様な広報等

◇農業用水、水土里ネット等のPRパンフの作成・配布

2. 水土里ネット江差（江差土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ②地区面積 777ha
- ③組合員数 188戸
- ④関係市町村 江差町、厚沢部町
- ①役職員等数 総代一名、役員8名、職員2名

（2）21創造運動の概要と受賞ポイント

JJA女性部や江差町消費者協会、地域の子供たちやお年寄りなど幅広い連携のもとで、地域に古くから伝わるお菓子や鍋料理づくり、そば打ち等の体験交流会を開き、地域の伝統食文化の伝承に取り組んでいる。

学校教育との連携では、江差町内3つの小学校の総合学習「バケツで米づくり」に全面協力。米ができるまでの一連の過程を子供たちに学んでもらおうと、水土里ネットが学校に提案して実現したもので、平成16年から実施し、定期的に職員が学校に出向き、水管理等の指導を行っている。

また、案山子づくり体験教室や「田んぼと水」をテーマとした絵画の募集、施設見学会を行うなど、農業・農村の多面的機能や地域資源の大切さ、地域の伝統など、参加者が楽しみながら理解してもらうための工夫をしており、さらにはこれらの活動が地域の交流、活性化にもつながっている。

（3）21創造運動の主な取組

①都市と農村の交流

◇地産地消、地場農産物のPR活動

江差町消費者協会の会員に参加を呼びかけて、地元産のそば粉を使ったそば打ち体験会を開催。地域のおばあちゃんを講師に、消費者協会会員30名が参加し、地産地消等をPRしている。



平成16年12月3日に開催した「そば打ち体験会」

②地域住民等との連携

◇地域の伝統食文化の継承

学校の冬休み期間を利用して、子供たちや消費者、農業者が地元で採れた食材を使って昔から伝わるお菓子づくりを体験してもらおうと、JA女性部と連携して「伝統お菓子づくり交流会」を開催。小中学生や消費者協会、JA女性部のメンバーなど100名が参加し、「いももち」「こうれん大福」づくりなどを通じて交流を深めた。



平成17年1月13日に開催した
「伝統お菓子づくり交流会」

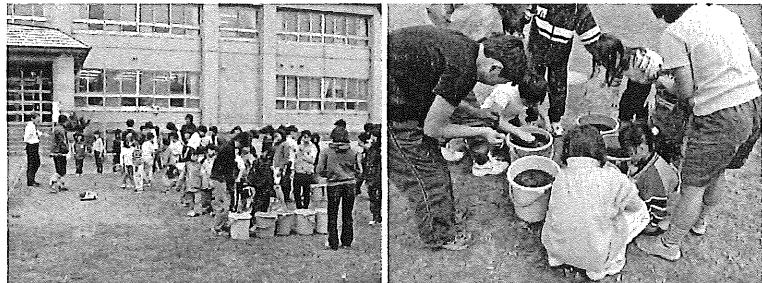
◇農業水利施設見学会の開催

消費者協会メンバーや地域住民の参加を得て、農業水利施設見学会を開催。平成16年度は8月25日に30名の参加者を頭首工などに案内し、施設や農業用水、水土里ネットの役割などを紹介している。

③学校教育との連携

◇小学校の総合学習「バケツで米づくり」に協力

江差町立朝日小学校、日明小学校、水堀小学校の3校の総合学習「バケツで米づくり」に全面協力している。水土里ネットが、米ができるまでの一連の過程を子供たちに学んでもらおうと、小学校に提案して実現したもの。子供たちが自分のバケツの田んぼを管理し、その間、水土里ネットの職員がその都度学校に出向き、水管理等を指導している。平成16年度から取り組み今年で2年目。



◇小学校の総合学習「田植え、稻刈り体験」に協力

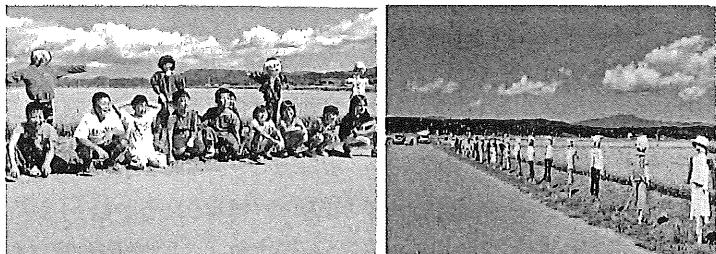
江差町立南が丘小学校、江差小学校、水堀小学校の総合学習「田植え、稻刈り体験」に協力。農業体験を通して、農地や農業用水等の重要性と、それらを管理している水土里ネットの役割などを紹介している。

◇お菓子づくり体験教室を開校

江差小学校と連携して、この地域に古くから伝わるお菓子「こうれん」づくりの体験教室を開校。5年生48名と先生2名が挑戦した。

◇案山子づくり体験教室を開校

水堀小学校と連携して、今では見ることのできなくなった「案山子」づくりの体験教室を開校。5年生30名が、家から古着などを持ち寄って、案山子づくりに挑戦。水土里ネットの



職員が、骨組み作りなどをアドバイスした。完成した案山子は、農家の協力を得て、田んぼ脇の設置し、地域の人たちやドライバーの目を楽しませた。

④先駆的な農業振興活動

◇地域の伝統食文化の継承 ※再掲

⑤環境・景観保全活動

◇子供たちが作った案山子を田んぼに設置 ※再掲

⑥多様な広報等

◇農業用水、水土里ネット等のPRパンフの作成・配布

◇子ども絵画展の作品募集

2. 水土里ネットうらかわ（浦河町土地改良区）

(1) 水土里ネットの概要

- | | |
|--------|------------------|
| ②地区面積 | 4, 463ha |
| ③組合員数 | 522戸 |
| ④関係市町村 | 浦河町 |
| ①役職員等数 | 総代50名、役員17名、職員3名 |

(2) 21創造運動の概要と受賞ポイント

組合員をはじめ地域住民等へ積極的な参加を呼びかけて、平成14年から道路脇を流れる用水路沿いにフラワーロードの造成を進めている。昨年からは水土里ネットが事務局となって「花植会（はなうえるかむ）」を結成し、自治会などと連携して、さらなる活動の環がひろがるよう地域全体に参加を呼びかけている。

また、学校教育との連携では、平成14年から町内の小学校の総合学習「米づくり体験」に全面的に協力し、学校やPTAからも好評を得るなど、役職員が一体となって継続的な活動に取り組んでいる。

特に、多様な広報の展開では、水土里ネットの創造運動や土地改良事業の取組、農業・農村の多面的機能などについて、新聞社等と連携を図りながら積極的な情報発信に努めている。

(3) 21創造運動の主な取組

①都市と農村の交流

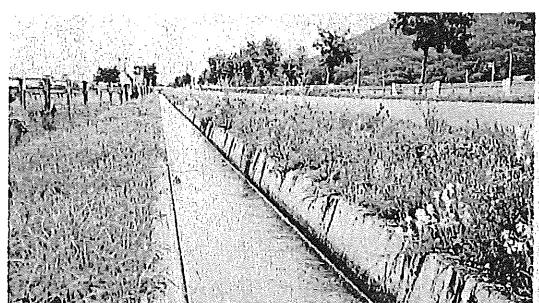
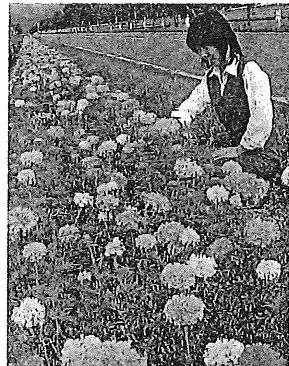
◇体験農園「アエル」の開設

浦河町と連携して、道営中山間総合整備事業で体験農園「アエル」を開設。

②地域住民等との連携

◇用水路沿いのフラワーロードづくりの推進

美しい農村景観づくりで、道路脇を流れる用水路沿いに花を植え、フラワーロードづくりを進めている。地域住民や組合員など多様な参画を得て、水土里ネットが事務局となって「花植会（はなうえるかむ）」を結成。自治会や北海道地域活動振興協会などから苗代などの助成金も受けながら、ヒマワリやコスモス、マリーゴールド、ワスレナグサなど、色とりどりの花を植え、定期的に草取りを行っている。平成14年から継続的に行っており、これまで800mのフラワーロードが完成。平成16年度には、町花いっぱいコンクールで特別賞を受賞した。



③学校教育との連携

◇小学校の総合学習「米づくり体験」に全面協力

浦河町立荻伏小学校5年生の総合学習「米づくり体験」に全面的に協力し、農業体験を通じて、農地や農業用水等の重要性と、これらを管理している水土里ネットの役割などを紹介している。

この取組は、平成14年から継続的に行っており、水土里ネットが小学校に協力を申し出て実現したもの。以来、学校やPTAから継続的な協力の要請を受け、今年で4年目となっている。

平成16年度は、5月28日に田植え体験と頭首工見学、7月14日に生育観察と田んぼの生きもの調査、9月14日に稲刈りとはさがけ体験、10月15日に脱穀・精米体験、11月12日に収穫祭・試食会を実施。その間、稲の生育状況等を写真等で子供たちに情報提供している。



④先駆的な農業振興活動

◇食の安全・安心に向けた土づくりの啓発・普及

組合員を対象に、土づくり研修会を開催。試験場等から講師を招き、消費者が求める安全・安心な作物の生産に向けた、堆肥等の有機質投入による土づくりの啓発・普及を図っている。

⑤環境・景観保全活動

◇用水路沿いのフラワーロードづくりの推進 ※再掲

⑥多様な広報等

◇新聞社等への情報提供

水土里ネットの創造運動の活動や、土地改良事業の取り組みなどについて、新聞社に積極的に情報を提供し、広く活動をPRしている。平成16年度は、北海道新聞等に13回、活動が掲載されている。



平成16年8月13日 日本農業新聞

◇農業用水、水土里ネット等のPRパンフの作成・配布

